

11709その他の製造業－その他における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2017	12	17~18	3階ブラスト室にて、高さ約1.8mのブラスト機天板に登り、機器部品の修理交換を行い、作業終了時に脚立を使用せずに飛び降り、右足踵にひびが入った。	44	3	419	30 ～ 49
2	2017	12	16~17	集塵機から粉塵を排出し、フレコンバックに入れる工程での作業中に、異常を感じたため点検しようと、排出口ローターが作動中にもかかわらず誤って左手を入れてしまった。	50	7	169	10 ～ 29
3	2017	12	7~8	荷物（120cm×60cm×50cm、重さ約20kg）をワンボックス車で受け取りに行き、リアゲートから荷物を押し、被災者が荷台前方へ引き込む際、連携がうまくとれず手が荷物から抜けてしまい、その勢いで後部座席の鉄パイプ部分へ右手側面を強打し、負傷したものである。	33	3	611	50 ～ 99
4	2017	12	18~19	事業場内にて荷物を運んでいた際、段差に足をつまずき転倒し、左足首を骨折した。	45	2	419	1～ 9
5	2017	12	17~18	トラックからトラックへ自動販売機の積み替え作業のため、トラックの荷台に上っていた。夕暮れ時であったため薄暗かったせいもあり、バランスを崩してトラックの荷台から転落してしまった。その際、まず右足が地面に着き、そのまま捻って倒れ込み、右膝を負傷した。	38	1	221	10 ～ 29
6	2017	12	13~14	お昼休憩が終わり、工場の2階の作業場に向かう途中、2階への階段付近にてドスンという音とともに、1階の床に倒れていた	69	1	413	1～ 9



14	2017	11	16～ 17	事務用・通信用機器組立作業場においてプラスチックダンボールで用品入箱を作成中、プラスチックダンボールを床面に置いてカッターナイフで切り込みをしていた時、誤って金尺で押さえていた左手にカッターが当たり負傷した。	61	8	364	10 ～ 29
15	2017	11	8～9	当社敷地内のトイレに用を足しに行き、トイレ入り口に2段の階段があり、上の段でフラットして段を踏み外し、地面に転倒してしまった。その際に身体を支えるため左手を地面についたが、変な向きでついてしまったため左手手首を負傷してしまっ	55	1	413	10 ～ 29
16	2017	11	11～ 12	クレーン付近で作業をしていたところ、クレーンで吊っていた建築資材が落下し負傷した。	41	7	169	30 ～ 49
17	2017	11	10～ 11	利用者への介助をしていたところ、おやつを食べ終え座っていたショートステイ利用者様が急に椅子から立ち上がったので危ないと思い、その方の所へ行き、椅子に座って頂くよう話をしたら、いきなり左首の辺りを3回殴られた。軽い痛みだったので、湿布を貼り、様子を見ていたが、翌日痛みが強くなったので、病院受診をした。	50	2	611	30 ～ 49
18	2017	11	9～ 10	脚立の上で、成型機のドレン弁にドレンホースの取り付けが終わり、脚立から降りる時、足を滑らせて脚立の中に右足が入り、右手を捻る様にそのまま床に倒れ、右肘を打った。	25	1	371	50 ～ 99
19	2017	10	8～9	養魚飼料製造工場で、20kg入りの紙袋の製品の抜き取り作業時に包材送り部の下に落ちた袋を拾おうとした際、機械を停止させず体を入れたため、頭部を（ヘルメットごと）横移動する袋抱きと調整ガイドバーに挟まれ被災した。	51	7	169	10 ～ 29
20	2017	10	16～ 17	磨き班乾式3号機前バフ機でエアブロー作業場を交代しようとした時に、後方を確認せず後ずさりしたため、回転しているバフ機に背部が当たり、背部を火傷した。	29	8	153	100 ～ 299

21	2017	10	11~ 12	看板の取り付け作業中、補助として脚立に乗っていた際にバランスを崩して転落し、背中と後頭部を強打した。	48	1	371	1~ 9
22	2017	10	11~ 12	当社倉庫にて、木材製品にドリルで穴あけ加工中、誤って軍手がドリルに巻き込まれ、左手人差指を負傷した。	70	7	134	10 ~ 29
23	2017	10	16~ 17	当社工場内において、超音波溶着機を使ってクリアファイルの片面を溶着する作業中に、誤って右手を機械に挟んで負傷したものである。	67	7	169	30 ~ 49
24	2017	10	20~ 21	丸ノコ自動カット設備（1,140×700×980）で、成形品カット作業を実施中（1サイクル毎にスタートスイッチON）1サイクル終了後、設備の横に行き、設備の上部に右腕を掛け、設備の裏側下部の通常では手を入れない切り粉排出口（Φ100）の中に左手を入れてしまった際、右手を掛けていた近くにあるスタートスイッチに触れてしまい刃物が回転し、指先が刃物に触れてしまった。	60	8	131	30 ~ 49
25	2017	10	6~7	当事業所内解体作業場に於いて、ニブラに乗り解体作業をしていたところ、出荷業者のトラックが来たので、誘導等の対応する為、ニブラから降りようとした。操縦席から地面まで高さ（135cm）があった為、一旦キャタピラに降りたところ、キャタピラにオイルが付着しており、付着したオイルで滑り、転倒しキャタピラ部分に背中を打って負傷した。	64	3	169	50 ~ 99
26	2017	10	11~ 12	会社で運動会を開催。綱引きを行っていたところ、綱ごとよろけて腰を打った。	52	19	921	30 ~ 49
27	2017	10	15~	住宅建材外壁塗装の小物素版搬出ラインで両面塗装の切り欠き部分の塗料溜まり・垂れの取り除き作業中、完成品がコンベヤ上に詰まっていたが、流れていこうと思ひ、搬出ボタンを押して次の小物素版をライン上に押し出した時、完成品にぶつ	24	7	911	10 ~

			16	<p>かることに気づき、抑えようとして咄嗟に出した右手（軍手着用）が搬出品と完成品の間に挟まれ負傷した。（台板一枚約30kg、縦559mm×横1200mm×高75mm）</p>				29
28	2017	10	15～ 16	<p>工場の外で粉砕機の掃除を行い、工場内へ粉砕機の移動中、入口で勢いをつけて押した為、粉砕機のバンラスが崩れ粉砕機が倒れ足を骨折した。</p>	43	6	162	10 ～ 29
29	2017	9	16～ 17	<p>工場内出荷置場で出荷材料準備中、パレット積材料タンクを専用の器具を使わずに手で積み替え作業を行った際、材料タンクが誤ってパレットより外れ、足先に接触して負傷したものである。</p>	33	4	611	10 ～ 29
30	2017	9	16～ 17	<p>食品容器用PETシートのロール状の原反の交換作業において、原反の鉄芯を成形機の固定する溝に2名にて移動中に、通常であれば、全ての指で鉄芯を掴んでいるところ、誤って右手人差し指を伸ばした状態で作業して、固定する溝と鉄芯に指が挟まれ、間隔が狭い為、人差し指を切断したもの。原反の重さは約300kgである。</p>	47	7	169	10 ～ 29
31	2017	9	7～8	<p>工場にて、木製チップを炉に投入するためのスクリュウにチップが詰まっているか確認する為に上がった際に、機械が止まっていると思い木くずが有ったので手を突っ込んで取ろうとしたところ、機械が再び回りだし、軍手が引っ掛かり、左手を巻き込まれ、左手を負傷した。</p>	45	7	121	10 ～ 29
32	2017	9	1～2	<p>弊工場、成型3系の380号機成型ラインにおいて、製品（プラスチック製食品容器）の検査仕上げ作業中、成型機の製品穴あき検知機の警告音が鳴動したため、半製品集積部にて不具合品を取り除こうとして左手を差し出したところ、手元側に移動してきた半製品移載装置のスライド部とスライドシャフトのストロークエンド部に左手人差し指先端部を挟まれて、負傷した。</p>	47	7		100 ～ 299

33	2017	9	4~5	15個の空バケットを回収してパレットに乗せる作業中、バケットの乗せ方が不十分だった為、バケットが手前に倒れてきた。左側へよけた時に左足をパレットの角に引っ掛けてしまった、左斜め後ろへ倒れそうになったので左手で床を強く突いてしまった。	55	5	379	100 ~ 299
34	2017	9	16~ 17	ピッキング場ケース置場において、ケースをピッキング作業中、ケースの端に掛けてあった紐に右足が絡みバランスを崩して転倒し、コンクリートの床に右足を強打し骨折した。	54	2	416	10 ~ 29
35	2017	9	6~7	リサイクル工場内において、攪拌機に小麦粉を入れる作業時、1台ずつに小麦粉を入れる時、背中を曲げると違和感を感じた。それから腰椎、左足が痛くて足を引きずるようになり、杖を使用しなければ、左足が思うように歩くことができなくなった。	64	19	611	10 ~ 29
36	2017	9	11~ 12	畳床の製造作業中、機械の台からおりる時に（段差の高さが30cmくらい）、足をすべらせてあお向けに転倒した。転倒した時に右手を下についてけがをした。	68	2	371	10 ~ 29
37	2017	8	10~ 11	工場内の飼料紙袋取り出し口にて、飼料の袋詰め作業中に、紙袋を挟む作業機械に確認せずに手を入れ、指を挟んだ。	37	7	169	10 ~ 29
38	2017	8	14~ 15	工場内充填課作業場において充填作業中に、充填機のコンベアーに挟まったチューブを除去しようとした。本来ならば機械を停止して行うことになっている作業であるが、少しはじき出す程度だから大丈夫と思い、停止せずにそのまま行ったところ、誤ってコンベアー上に取り付けてあるカバーとコンベアーの間に右手人差し指を挟まれた。	52	7	224	10 ~ 29
39	2017	8	8~9	作業台で作業をしているとき、カッターの刃の交換時になかなか入らなかったため、力を入れ過ぎて滑り、誤って左小指の第1関節の箇所を切った。	41	8	364	10 ~ 29
				当社事業所において、被災者は、印刷作業中に印刷物の様子を				

40	2017	8	9~ 10	見に行ったとき、コンテナ（縦53cm、横37cm、高さ20cm）が置いてあることに気づかず、躓いて転倒した。その際、左腕から地面についてしまい、左腕肘付近を骨折した。	62	2	611	50 ~ 99
41	2017	8	10~ 11	アパート2階、壁面かごのせエアコン室外機の修理作業中、梯子より約3m下に転落し、頭蓋骨・鎖骨を骨折し、脳挫傷、くも膜下出血を負った。	41	1	371	1~ 9
42	2017	8	10~ 11	朝、工場のシャッターを開けたところ滑ってしまい、モーターが利かず二の腕辺りにシャッターが落ちて来た。最初は大した事はないと思っていたが、だんだん痛みが出てきて、内出血もしていた。	47	4	418	1~ 9
43	2017	7	14~15	ボール盤の穴あけ箇所の手取りを行うため、製品を左手で固定し、面取りしていた。面取りカッターは研磨したばかりのため、くい込み、左手で固定していた製品が回り、固定していた左手がカッターに当たり、左手人差し指を切った。	48	8	152	10 ~ 29
44	2017	7	13~14	工場内で作業していたら別棟の作業所一階から煙がでていたため、消火しようとした時、爆発がおこり逃げようとした時、転んで怪我をした。	36	2	417	1~ 9
45	2017	7	14~15	納品（ゴム印）するため二輪車の乗り走行中、道路の凸面に乗り上げ右側に転倒し右鎖骨を骨折した。受傷出勤していたが手術が必要となり、医師のすすめにより休業となったため本件提出する。	38	17	231	50 ~ 99
46	2017	7	8~9	当社工場にて押し出し機に材料を入れて締めていた所、誤って右手の指を挟み損傷した。	25	7	169	10 ~ 29
				工場内において、治具部品の取替を、治具と治具の間（約60cm）に作業員二人で背中合わせで作業をしていた。一人が、グラインダー作業を終え駆動を止めて振り返った際、グラ				

47	2017	7	9~10	インダーの刃が完全に停止しておらず、もう一人の背中に刃が当たり負傷した。作業ルールでは、背中合わせでの作業を禁止していた。次の作業へ急いで移動しようとし、グラインダーの駆動の停止確認を怠った。	18	8	153	—
48	2017	7	10~11	会社工場1階の塗装ブース前で、塗装作業に入る前の準備中に、床に置いてあるスプレーガンを取ろうと、かがみ、起き上がろうとした時に、腰に激痛がはしり動けなくなった。近くに居た社員に声をかけ助けを求めた。	29	19	921	10 ~ 29
49	2017	7	20~21	生産数が完了した成形機の成形データを成形指図書に記録するため検査場から2階に上がる中央階段に向かうため検査台間の立入禁止区域看板をつけてあるチェーンをくぐり金型搬入コンベアを跨いだ。跨いだとき股が開ききった状態になり右ひざの内側をローラーコンベアにぶつけた。	28	3	419	10 ~ 29
50	2017	7	10~11	会社内の工場で材料のエポキシ樹脂（縦20cm×横30cm×厚1cm・重量約4kg）を工作機械で左側を固定し左手を添え削っている時樹脂のため材料が滑ってしまい材料が飛んでしまった。その時材料が左手の手のひらあたりに当たってしまい負傷した。	23	4	169	1~ 9
51	2017	7	14~15	得意先からゴミ回収のため工場へ行き、確認したところ少量であったため回収せず、事業場へ戻るため軽トラにて移動。雨が降りそうだったので路上に車を止め荷台のシートを全面に掛けようと荷台に乗り煽りに腰を掛け引っ張ったところ、毛布を入れてあるボックスの下に挟まっていたビニール部分が突然取れ、その反動で路上に落下。その際頭部を打ち負傷。	58	1	221	10 ~ 29
52	2017	7	20~21	上期日、営業所の屋外に設置してある冷凍庫において冷凍庫内から荷物を持ち出そうとしたところ、冷凍庫のドアを開けた際に風でドアが勢いよく開いたために、その拍子に仰向けに転倒し、負傷したもの。	57	2	417	30 ~ 49

53	2017	7	14~15	製造用設備のガラス器具を組み立てている際反応容器のふたに攪拌羽根を取り付けている時ガラス製の反応容器ふたが攪拌羽根に接触し、割れてしまい、右手小指を割れたガラスで切ってしまった。	31	8	529	100 ~ 299
54	2017	7	10~11	豊床製作工場内において、豊床製作機械を止めずに機械に付着したゴミを取り除く作業を行ったため、機械のツメ部分にはさまれて右手親指を骨折した。	35	6	169	10 ~ 29
55	2017	6	11~12	自社工場において、豊製造中、機械（両用機）が途中で糸が絡んで止まり故障したので、機械のかまをモンキーを回して外していたところ、かまが半回転した反動で、機械横に付いているL字金具に左手甲をぶつけて皮膚が裂けた。	70	19	169	1~ 9
56	2017	6	9~10	フィルムシートをカット機で切断する際に、フィルムシートの端が丸まっていたので、カット機を止めずに手を出して修正しようとした為、右手人差し指の先端を負傷した。	46	7	169	50 ~ 99
57	2017	6	17~18	会社の工場内で製袋機の片付け中、ダンボールを取ろうとして左手を出した際、隣の製袋機の稼働中のゴムベルトに指を突っ込んでしまい、左中指の爪が割れて出血した。	39	7	121	10 ~ 29
58	2017	6	8~9	工場敷地内で廃棄火薬の処理作業中、完全に処理できなかった火薬をバケツに入れておき、小分けに処理をするので、1回目の処理の火薬を地面に並べて燃やそうと、バーナーを点火したところ、バツと炎が上がり、自分の顔と右腕を負傷した。	31	11	511	1~ 9
59	2017	6	8~9	工場3階にて、清掃場所に急いで向かうために走って移動していたところ、床に靴が引っかかってバランスを崩し、右手をついて2回転倒した。転倒の衝撃で右手首を負傷した。	60	2	417	100 ~ 299
60	2017	6	11~12	当工場内において、ビン製品の検査作業で不良品の型番をホワイトボードにペンで記入し、ボード用のペンを小走りで所定の場所へ戻しに行った際、横向きに置いてあったハンドフォークに足を引っ掛けて躓き、コンクリート床に転倒して右足を骨折	51	2	362	10 ~ 29

				し、左足を捻挫する。				
61	2017	6	12～ 13	駐車場において、業務使用中のワンボックスカーの後部ドアより荷物の積み込み作業完了の後、ドアハッチを上部から勢いよく閉めた際、ドアの左側の縁に右側頭部が接触し、裂傷を負った。	43	3	231	1～ 9
62	2017	6	10～ 11	工場内にて物置の製作中、物置屋根部分からはみ出しているシールのカッティングを後退しながら行っていたところ落ちたものである。（物置の高さは約2.5m）	55	1	415	10 ～ 29
63	2017	5	16～ 17	塗装工事中に、2ヶ所の塗り残しをタッチアップしていたとき、1ヶ所にフックを掛けて終わり、2ヶ所目にフックを掛けようとしてふらつき落ちた。	46	1	416	1～ 9
64	2017	5	9～ 10	当組合工場内でクッカーの点検口の修理をしていたところ、ドレンを抜いていなかった為に熱湯が噴き出し、左腕と左足に熱傷を負った。	68	11	519	10 ～ 29
65	2017	5	15～ 16	冷蔵庫ライン後行程のFR（ファインリサイクル）の風力選別機で生産中、樹脂の詰まったのを監視モニターで確認したため、安全棒で取り除こうとした時に取りきれずに、風力選別機のシロッコファンの点検口を開けて設備が動いている状態で右手を入れて取り除こうとした時に巻き込まれ、右手の平を裂傷、人差し指中主骨を骨折、人差し指腱を損傷した。	52	7	169	50 ～ 99
66	2017	5	11～ 12	工場構内において、被災者がパレット5段踏みを台にして（高さ1m位）作業中、高さが合わず4段積みにする為、フォークリフトを使い同僚が運転し、パレットを持ち上げバックする際、誤ってレバーを前進にしてしまい、パレット前で待機中の被災者がラック（棚）とパレットの間に挟まれた。	49	7	222	1～ 9
				店舗の看板取付け工事中、高所作業車をアウトリガーで地面に固定し、バケットを自ら操作し店舗屋根上の荷物を降ろす作業				10

67	2017	5	14～ 15	をしていたところ、ブーム後方旋回中にバケットが車道にはみ出し、そこへ大型トラックが減速せずに走行してきて衝突した。バケットから体が投げ出され、店舗の壁面にぶつかり、地面に落ちた。	29	6	146	～ 29
68	2017	5	16～ 17	タイヤ交換時にタイヤを持ち上げようとした際、腰を痛めた。	31	5	522	30 ～ 49
69	2017	5	8～9	1階輸送作業場にて、2段積みのカゴ台車（鉄製、キャスター付）を整理しようと移動させた時、上段のカゴ台車がずれ落ち掴んでいた左手を負傷した。	31	7	362	50 ～ 99
70	2017	5	14～ 15	修理工場内にて、パーツクリーナーを使いしゃがんで部品を洗浄中、近くで溶接作業をしていた火の粉が飛び落ち、パーツクリーナーから排出されて、下に溜まっていたLPガス成分が入っているパーツクリーナーに引火し、ビニール製のジャンパーを着ていたため衣服に火がつき、体に火傷を負った。	41	11	513	10 ～ 29
71	2017	4	9～ 10	ボールミル機の中のサイト板取り替え工事のため、板をロープで吊って外に出す作業中、ロープがボールミルを止めているワイヤーに引っ掛かった。それを外そうと脚立に昇り、バランスを崩して1.5m位の高さから転落して足を負傷した。	36	1	371	10 ～ 29
72	2017	4	9～ 10	当工場内において、脚立（高さ160cm）に乗って塗装する製品を取ろうとしたところ、バランスを崩して転倒し、右手首を負傷した。	23	1	371	1～ 9
73	2017	4	19～ 20	工場内でプラスチックケース製品の洗浄作業をしている際、ベルトコンベアから流れてきた製品のバランスが不安定で、通常は機械を止めて直すところ、不注意で手動で対応しようとしたところ、製品と機械に左手を挟み裂傷した。	47	7	224	1～ 9
			15～	工場内にて合紙機で原紙を貼り合わせる作業中、中央部の原紙差し込み部分のゴムローラーに原紙が付着してしまい、原紙を				50

74	2017	4	16	除去する為ローラーを停止させずに右手に持った雑巾をローラーに当てたところ手が滑り、右手が巻き込まれて負傷した。	46	7	166	～ 99
75	2017	4	4～5	ロータリーフィーダ内にある管内にある綿状の物を除去する作業をするため、ロータリーフィーダの停止ボタンをOFFにしたところ、OFFではなくONのボタンを押してしまい、またパトランプ及びチェーンの点検を確認せずに手を入れて、右手の指を切断してしまった。（機械作動中はパトライトを点灯している。）	41	7	169	10 ～ 29
76	2017	3	10～11	団扇製造の作業中に、左手環指指尖部を圧着機ローラー部に巻き込まれた。	55	7	163	1～ 9
77	2017	3	11～12	本社工場内において、木製の梱包箱の底の部分の加工中（角材：縦17cm、幅14cm、長さ3m、重量40kgを連結し、角材の穴あけ作業）、角材の間を移動しようとした際にバランスを崩し、地面と角材の間隙（製品が地面につかないように角材をかましていた）に右足を挟み、そのまま後ろ向きに倒れた際、右足くるぶしを負傷した。	27	2	417	10 ～ 29
78	2017	3	17～18	現場作業場で作業終了後の後片付けをしている時、後方から声を掛けられて振り返った際に、足元にある台車に接触し転倒し、右手で受け身を取ったとき右肘を強打し骨折した。	50	2	362	10 ～ 29
79	2017	3	17～18	発注書を手に持ちながら3Fから2Fに下りる時に足をふみ外し、強打した。転倒直後は頭がふらふらするだけだったが、その後、頭痛や腕首の違和感、鼻から甘い液体が鼻の上の方から口に流れるようになった。又、首の違和感や耳鳴りなども出るようになった。	28	1	413	10 ～ 29
80	2017	3	9～10	自社倉庫内において、ピッキングリフトに乗って高所（2m）の棚にある製品の棚卸作業をしていたところ、バランスを崩して製品とともに地上に転落した。	46	1	222	100 ～ 299

81	2017	3	18~19	古床を保管している場所で、古床を養生しようとしたところ、高所から落下し足を骨折した。	43	1	529	1~9
82	2017	3	14~15	1F4号機の清掃中、シフターの止め具のナットをきつく締めすぎてレバーが固定出来ない状態となり、反動で跳ね返った際に外れたバンドが口元に当たり、唇の上辺りが切れてしまった。	38	4	391	50~99
83	2017	3	8~9	事務所上（高さ2.4m）に保管してある棺布団のダンボールを床に下ろす作業中、バランスを崩し、飛び降りる形で落下し、右足踵を強打し受傷した。	67	1	611	1~9
84	2017	3	11~12	基盤梱包作業場でベニア箱にのぼり、畳んであるフルカバーを広げ、ベニア箱の四隅に合わせるため、足を脚立に掛けようとしたとき、足を踏み外して落下転倒し、後頭部を損傷した。梱包作業員は2名の共同作業だが、次に使用するベニア箱準備のためにもう1人が屋外にあるフォークリフトを取りに行き、基盤梱包場に戻ると被災者が床に転倒しているのを発見した。なお、保護具（綿保護具付帽子）は着用していた。	59	1	371	30~49
85	2017	2	16~17	3人一組で原料タンク検尺の棚卸し作業中、工場棟5Fから4Fへ移動し降りる際、足を踏み外した。その時、両側階段手すりを両手で持っていたため、体の強打は無かったが、両肩の関節脱臼となった。	33	1	413	10~29
86	2017	2	11~12	コンテナ車内での作業中、ピート原料ケース（20kg~25kg）を自分の背丈ほどの場所から下ろす作業を行っている際、ピート原料ケースが頭上より落下し首に当たり負傷した。	66	4	529	30~49
87	2017	2	14~15	工場内でバンドソーにてプラスチック製の自動車部品（縦10cm、横30cm）の粗取り作業をしていたところ、両手で部品を持ち、上下に動く帯ノコ刃（幅1cm、厚み2mm）に向かって部品を奥に動かしながら切った際、帯ノコ刃が右手環指に当たり負傷した。	56	8	169	50~99
				本社工場内で品物を上部のラインにかける作業を行っていた				

88	2017	2	14~15	際、少し時間が空きその場に止まりラインを見ていた。この時同僚運転のフォークリフトが左後方から近づいてくるのに気付かず、また同僚は被災者がリフトに気付いているものと思い、左前方の品物をすくうため右にやや旋回しながら被災者が近づいた際、リフトが被災者と接触し、右車輪で被災者の左足を踏んだ。	67	7	222	10 ~ 29
89	2017	2	14~15	櫓の枝下し作業中、ハシゴを2箇所固定し切り下した枝とハシゴに足をかけて、被災者本人より上部にある長さ1m、太さ23cm、重さ約15kgの枝を吊し切りしていた際に、切断後、切り離れた枝が被災者本人の方向に振れたので、避けようとしてバランスを崩して墜落し下部にある支幹に接触した後地面に落ちた。	56	1	712	10 ~ 29
90	2017	2	17~18	滅菌台車に積載された滅菌ラックの最上段（8段目）を荷下ろしするため、滅菌ラックを持ち上げたところ、下段（7段目）の滅菌ラックも持ち上がりずれてしまった。（場所：1号棟1階梱包室内）慌てて持っていた滅菌ラックを元に戻し、ずれた7段目の滅菌ラックを右手で直そうとし、焦っていた事により手元が狂い右手首を捻挫してしまった。	31	19	921	500 ~ 999
91	2017	2	10~11	塗装小屋入口上部のH鋼のサビをケレン作業中、脚立（6尺）の足が伸びるタイプで、少し無理な姿勢でいたため、バランスを崩し、脚立が倒れ落下し、左足のかかとを骨折した。	54	1	371	10 ~ 29
92	2017	2	14~15	被災者は寮内へ畳（重さ約20kg）1枚を担いで搬入しようとしたところ強風にあおられ転倒した。左脚大腿骨を骨折したものである。	29	2	719	—
93	2017	1	11~12	第3工場包装室で、包装机へ半製品を投入・選別する作業中、半製品投入口の位置が高く半製品の箱も重かった為、繰り返し箱を持ち上げた際に上半身に負担がかかり骨折した。	57	19	611	50 ~ 99
			15~	1号ドック入渠艦内で、主機開放作業のため、工具箱（重さ25kg）を持って機関室に向かう階段を下りているとき、3段目のス				1~

94	2017	1	16	テップを誤って踏み外し、バランスを崩して階段下まで転落し負傷した。	41	1	413	9
95	2017	1	16～ 17	工場内塗布機での生産作業中の事故。作業者が、回転テーブル上の型枠に生地をセットする際、型枠に付着した水滴に気づき雑巾で拭き取った。その後、雑巾を回転ボタンを押したままの状態、回転テーブルの隙間上部から右腕を差し込み、台に置こうとした。それと同時にテーブルが回転し、テーブルと設備の間に右腕を挟まれた。挟まれた作業者が、とっさに腕を引き抜いた際、右手中指を切創し、右腕に挫傷を負った。	42	7	169	100 ～ 299
96	2017	1	13～ 14	工場内でプレスของ金型を取り付け作業中に、ネジの締め付けをしたところ、手がすべり尻もちをつく状態で転倒した。	54	3	154	—
97	2017	1	9～ 10	ゴム練り職場のゴム塗布室にて、ゴム切断機で白ゴムを切断する作業をしていた時に、ゴムが上手く落ちてこなかったため、機械を止めずに安全カバーの下の隙間から左手を入れてゴムを落とそうとし、刃物で左示指の先端を切断した。	56	8	169	100 ～ 299
98	2017	1	11～ 12	工場内にて機械のベルト部分に指が挟まる。製品の段取中、電源をOFFにしておく事を怠り、手元のスイッチボタンに触れてしまった為である。通常、段取中は電源をOFFにしておかなければならない。	24	7	121	1～ 9
99	2017	1	16～ 17	スリーブをシェル穴部に入れ込む作業中、位置がずれてしまった為普段はひもを手で引き修正を行うが治具を使用して修正しようとしたところ、スリーブが治具からはずれてしまい左手首に刺してしまった。	22	8	379	50 ～ 99
100	2017	1	13～ 14	午前中に大型ユニットハウスの屋根葺きを2人で終え、午後から同倉庫で小型ユニットハウスを別々に作業をしていたとき、屋根に日常上り下りしている2m50cmのはしごの上から被災者が転落し受傷したと思われる。	73	1	415	1～ 9

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。